

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

検体検査実施料新規収載のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、平成26年12月26日付厚生労働省保険局医療課長通知「保医発1226第1号」にて、別掲の項目の検体検査実施料が平成27年1月1日より新規適用されることになりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくお取り計らいの程お願い申し上げます。

敬具

記

「検査実施料」の新規収載

● 実施料が新設された項目

点数区分	検査項目名	検査方法	実施料	判断区分	注
D215-2 肝硬度測定					
	Mac-2結合蛋白 (M2BP) 糖鎖修飾異性体	化学発光酵素免疫測定法	200		*1
N002 免疫染色 (免疫抗体法) 病理組織標本作製					
6	CD30	免疫組織化学染色法	400	病理	*2

[注]

- *1: ア Mac-2結合蛋白 (M2BP) 糖鎖修飾異性体は、区分番号「D215-2」肝硬度測定の所定点数に準じて算定する。
イ 本検査は、2ステップサンドイッチ法を用いた化学発光酵素免疫測定法により、慢性肝炎又は肝硬変の患者 (疑われる患者を含む。) に対して、肝臓の線維化進展の診断補助を目的に実施した場合に算定する。
ウ 本検査と区分番号「D007」血液化学検査「38」のプロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド (P-Ⅲ-P) 若しくはⅣ型コラーゲン、同区分「40」のⅣ型コラーゲン・7S、同区分「43」のヒアルロン酸又は同区分「51」のプロリルヒドロキシラーゼ (PH) を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- *2: ア CD30は、区分番号「N002」免疫染色 (免疫抗体法) 病理組織標本作製「6」その他 (1臓器につき) の所定点数に準じて算定する。
イ 本標本作製は、HQリンカーを用いた免疫組織化学染色法により、悪性リンパ腫の診断補助を目的に実施した場合に算定する。

